

2016 年度

# 葦クラブ研究部会

CHUBU INDUSTRIAL ENGINEERING ASSOCIATION

## 世界競争に打ち勝つ日本のモノづくり

～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

- 1 生産物流研究部会
- 2 生産システム研究部会
- 3 モノづくり人材育成研究部会
- 4 モノづくり競争力研究部会
- 5 生産現場改善研究部会
- 6 葦クラブ研究部会**
- 7 海外モノづくり戦略研究部会

登録メンバー特典

2016/9/8 (木)  
現場長のための問題解決力セミナー

2016  
4/27



2017  
1/17

主催：  中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

後援： 一般財団法人 中部生産性本部

# 2016年度 葦クラブ研究部会

日本のモノづくりが、世界の市場に挑戦し続け、勝ち残っていくためには、日本発の製品を生み続けることが重要であります。技術力・開発力に一層磨きをかけ、常に挑戦を続け成長・発展を遂げていくことが求められています。そこで葦クラブ研究部会では、世界に挑戦する企業経営者や専門家、実務家の方々を招き、そのモノづくりへの熱き想いについて伺います。是非、ご参加・ご登録をお願い申し上げます。

年間テーマ

## 世界競争に打ち勝つ日本のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

第1例会

と き 2016年 4月 27日(水) 15:00～17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

### 「パートナーロボットの実用化を目指した取り組み」

～ すべての人に移動の自由を ～

トヨタ自動車(株)

パートナーロボット部長 玉置 章文 氏

トヨタ自動車は、人と共存し生活を支援するパートナーロボットの早期実用化を目指し、開発を加速させている。少子・高齢化が急速に進展する中、明るく活力のある社会を支える上で、ロボットに対する期待は大きく、とりわけ生活支援、介護医療に関係する分野において、ニーズの拡大が想定されている。このような中、パートナーロボット開発の実状とその将来性、可能性についてご紹介いただく。

第2例会

と き 2016年 6月 20日(月) 15:00～17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

### 「MRJ初飛行を支える町工場のモノづくり」

～ 最後は職人の“手作業”で ～

渡辺精密工業(株)

代表取締役 寺西 正明 氏

航空機部品用の治工具や測定器を製造する渡辺精密工業は、1947年創業。社員約50人規模で、世界トップクラスである航空機器の品質保証製品を作り続けている。MRJ開発に納入した関連製品数は約300。エンジンを構成する重要パーツを加工するための治具、その治具を用い加工されたパーツを測定するゲージを作っている。航空機器は、最先端技術と職人の技で良いものができる。工業と工芸が一体となったような世界である。職人は、最後の作業段階では1ミクロン(0.001mm)レベルの調整を手作業で行なっている。高い技術・品質を追い続けている、モノづくりと人づくりをする(技能継承)事についてご紹介いただく。

第3例会

と き 2016年 8月 26日(金) 15:00～17:00

と ころ 中部生産性本部 セミナールーム

### 「巨大望遠鏡ALMA(アルマ)に注ぐ情熱」

～ 宇宙誕生の謎解明に迫る日本の最先端技術 ～

三菱電機(株) 通信機製作所

インフラ情報システム部  
プロジェクト部長 大島 丈治 氏

三菱電機は、世界二十カ国の国と地域が参加し、南米チリのアンデス山頂5200mに建設された巨大電波望遠鏡ALMA(アルマ)プロジェクトを手掛けている。このプロジェクトは、日本の最先端技術を結集し、人類がこれまで見る事ができなかった宇宙の謎に挑むための最新の理論と究極の工作技術の結晶である。今回は、このプロジェクトの指揮を執る大島氏より、日本が誇る技術や実際の開発の様子についてご紹介いただく。

## 葦クラブ研究部会名称の由来

当部会の名称は当協会会長であった故大野耐一氏による命名である。1980年（昭和55年）から開設された当部会は経営幹部、工場長、管理監督者が集い、モノづくりに関することはもちろん責任者としての幅広い知識を収集するとともに会員企業とのネットワークを広げる場である。モノづくりを推進するうえで“現場のニーズは足で掴め、人間は考える葦である”という大野氏の言葉から「葦クラブ研究部会」という名称になっている。

■ 当部会の企画・運営における中心的役割をお願いしております。（順不同）

幹事	住友電装(株) デンソー ブラザー工業(株) 三菱電機(株)名古屋製作所 オプザーパー	ハーネス生産企画本部GPPC主幹兼生技開発本部主幹 生産企画部生産企画2室(元.担当次長) IE技術部グループ・マネジャー 副所長兼生産システム推進部長 アジア経済研究所開発スクール客員教授	高崎真年氏 橋本和男氏 伊藤進氏 小山健一氏 竹内常善氏
----	---	---	--

※幹事会は10/18(火)開催予定

### 第4例会

とき 2016年10月18日(火) 15:00~17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

## 「新たな需要を生み出す画期的な消防車の開発」

～ “人と地球の命を守る”をコンセプトに ～

(株)モリタホールディングス 代表取締役会長 中島 正博 氏

モリタホールディングスは、シェア50%以上を誇る消防車両のトップメーカー。消防車両事業については、40年以上前から輸出実績がある。アジア諸国で代理店ネットワークを強化し、拡販を目指している。消火器などの防災関連に加え、産業機械や塵芥車も展開している。前例にとられない、画期的な製品で需要を喚起し、シェア拡大のきっかけとなっている。心をこめたモノづくりと、絶えざる技術革新によって「安全で住みよい豊かな社会」に貢献している。顧客の要望に応え、改革・改善に取り組み、持続的な成長を続けている現状についてご紹介いただく。

### 第5例会

とき 2016年12月16日(金) 15:00~17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

## 「Bangladeshでの人づくりからモノづくりへの挑戦」

～ 途上国から世界に通用するブランドの発信 ～

(株)マザーハウス 代表兼チーフデザイナー 山口 絵理子 氏

慶應義塾大学総合政策学部卒業。ワシントン国際機関でのインターンを経てBangladesh BRAC大学院開発学部修士課程入学。現地での2年間の滞在中、日本大手商社のダッカ事務所に勤めながら夜間の大学院に通う。卒業後、「途上国から世界に通用するブランドをつくる」をミッションとしてマザーハウスを設立。現在Bangladesh、ネパール、インドネシアでバッグや服飾雑貨のデザイン・生産を行う。東京を始め、福岡、大阪、名古屋、そして台湾、香港など20余店舗で販売。これまでの人づくり、モノづくり、ブランドづくりへの取り組みについてご紹介いただく。

### 第6例会

とき 2017年1月17日(火) 15:00~17:00

ところ 中部生産性本部 セミナールーム

## 「小さな会社の大きな挑戦」

～ 日本の梅酒を世界へ ～

チョーヤ梅酒(株) 代表取締役社長 金銅 重弘 氏

チョーヤ梅酒は、1914年ぶどう栽培からぶどう酒の醸造元として出発。世界でも最高の品質を誇る日本の梅との出会いを機に、日本の伝統酒である「梅酒」の商品開発に努めている。酸味料、香料等の添加物にたよらない「本格梅酒」で世界の顧客に評価される商品をお届けするとともに、梅づくりは土づくりという理念の基、産農一体となり有機や減農薬の梅の栽培にも取り組んでいる。今回はチョーヤ梅酒の歩みと海外戦略をご紹介いただく。

# 開 催 要 領

## 参加対象

経営幹部、工場長、管理監督者 等

## 運営方法

- ①各例会とも原則、ご登録をいただきました方々を対象に開催いたします。(代理出席可能)
- ②**詳細案内を開催の約1カ月前**に例会毎に**登録メンバー**にメールにて連絡いたします。  
(例会毎に出欠確認をとりますので必ずご返信ください。)
- ③各例会とも指定いたしました集合場所・時間にご**集合**下さい。
- ④都合により**若干の日程変更になる場合**がありますのでご了承願います。
- ⑤各例会とも録音・写真撮影はご遠慮願います。
- ⑥年間の運営ガイダンスは第1例会実施の際に行います。

### 基本運営パターン

15:00～16:45	講 演
16:45～17:00	意見交流

会場：中部生産性本部 セミナールーム

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

## 年間登録費

中部IE協会会員 ..... 90,720円  
中部生産性本部会員 ..... 109,620円  
一般 ..... 128,520円

〔1口につき2名登録、  
資料代・消費税を含む〕

- ①年間登録費は、お申し込み後送付いたします請求書をご利用の上、**4月26日(火)までに**指定銀行へお振り込み願います。なお、**銀行へ支払う振込手数料につきましては、お客様のご負担**となりますのでよろしくお願いいたします。
- ②年間登録費は下記口座へ直接お振込みいただいても結構ですが、その際は申込書に振込日をご記入いただき、請求書不要の欄にチェック☑を付けてください。

口座名義：中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普通 No.1602917	名古屋銀行上前津支店 当座 No.3116141
愛知銀行本店営業部 当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店 当座 No. 494070
中京銀行本店営業部 当座 No. 112438	

- ③**4月20日(水)以降の参加取り消し**につきましては、年間登録費の返金を致しかねますのでご了承願います。(ご登録者の変更をお願い申し上げます。)

## 申込締切日

**2016年 4月 20日(水)**

参加申込みは、登録申込書をご記入の上、FAX又は郵送にてご送付願います。  
(遅れる場合は予めご連絡下さい。)

## メンバー特典

当研究会へご登録いただきますと下記の講座へ1名につき**会員価格の半額**でご参加いただけます。  
詳細は個別案内状をご送付申し上げますので、是非ご参加下さい。

2016年 9月 8日(木) 現場長のための問題解決力セミナー(28,080円→14,040円 消費税含む)

### ※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、当協会の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当協会個人情報保護方針の内容については、当協会ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
2. 個人情報の開示、訂正、削除については以下の窓口までお問合せください。
3. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問合せ窓口 担当：永井・齋藤 TEL 052-221-1261】

## お申込み・問合わせ先

### 中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)

TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265

<http://www.cpc.or.jp> 担当：杉田・村田・中村

2016. 2. 26

2016年度 葦クラブ研究部会[第6部会] 登録申込書

<フリガナ>

会社名

下記の通り登録申込みいたします。(昨年度登録申込みされている場合はこの申込書は送付は不要です。)

1	第1登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	( ) -
				FAX	( ) -
	E-mail				
	第2登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	( ) -
FAX				( ) -	
E-mail					
2	第1登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	( ) -
				FAX	( ) -
	E-mail				
	第2登録者	氏名	フリガナ	所属部署 役職名	
		住所	〒	TEL	( ) -
FAX				( ) -	
E-mail					

※ 本研究部会は、2名で1口の登録となります。

※ 年間登録費の請求書は第1登録者宛にご送付申し上げます。また、E-mailにて例会案内をお送りいたしますので必ずアドレスのご記入をお願いします。

なお、ご記入の第1・第2登録者の順にて名簿に掲載いたしますのでご了承ください。

請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日( )]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

(90,720円・109,620円・128,520円) [消費税含む] × 口 = 円

(事務局記入)

第1部会

### 生産物流研究部会

全体最適の物流による生産性向上 ～モノと情報がスムーズに流れる仕組みづくり～

モノづくり現場における生産性向上のためには、部分最適ではなく全体最適を前提とした準備段階からの物流システムの仕込みがカギを握る。そこで、モノと情報の流れをスムーズにすることで、そのネック・停滞の部分を見える化し、工夫・改善を行い、生産性向上に結びついた事例の研究を通して、モノづくり最適物流について探究する。

第2部会

### 生産システム研究部会

リードタイムの短縮による競争力向上 ～最適なモノづくりシステムの追求～

市場ニーズに合わせた生産量の変動に対応するためには、自社に最適な生産システムを構築し、変化への対応力を高めていかなければならない。そこで、リードタイム短縮を基軸としてフレキシブルな生産体制を作り上げ、競争力を高めている事例の研究を通して、ムダのないシンプルでスリムなモノづくりについて探究する。

第3部会

### モノづくり人材育成研究部会

現場力向上を支えるモノづくり人材の育成 ～技術・技能を次世代へ～

モノづくり現場を取り巻く環境が大きく変わり、それに必要な技術や技能も変化してきている。当部会では、モノづくりの技能、生産技術、設備保全等、モノづくり現場で必要となる様々な要素について、計画的かつ組織的に次世代へ伝承・育成している事例を通して、今、取り組むべきモノづくり人材の育成について探究する。

第4部会

### モノづくり競争力研究部会

モノづくり力の向上で競争に打ち勝つ ～開発力・技術力・現場力のさらなる進化～

製造業が競争力を高めるためには、自社の強みに徹底したこだわりを持ち、モノづくり力を高め、他社の追従を許さない、確固たる地位を構築しなければならない。自社のモノづくりの強みに磨きをかけ、競争力の持続向上をはかる、モノづくりの現場を訪問し、その強みの本質を探究する。

第5部会

### 生産現場改善研究部会

たゆまぬ改善活動による強い現場力の追求 ～知恵は無限、改善は永遠～

国内外市場に対して、柔軟かつ強固な生産現場であり続けるためには、地道に着実に、改善活動に取り組む必要がある。徹底的なこだわりを持って改善活動を実践している、業種業態の異なる生産現場を訪問し、現地で現物を確認し、改善の着眼点・発想法のポイントを掴み、生産現場の改善のあり方を探究する。

第6部会

### 葦クラブ研究部会

世界競争に打ち勝つ日本のモノづくり ～人間は考える葦 現場のニーズは足で掴む～

日本のモノづくりが、世界の市場に挑戦し続け、勝ち残っていくためには、日本発の製品を生み続けることが重要である。技術力・開発力に一層磨きをかけ、常に挑戦を続け成長・発展を遂げていくことが求められている。世界に挑戦する企業経営者や専門家、実務家の方々を招き、そのモノづくりへの熱き想いについて伺う。

第7部会

### 海外モノづくり戦略研究部会

海外モノづくり最前線！—その実態と展望～未来を見据えたグローバル戦略～

製造業を取り巻くグローバル環境は時々刻々と変化しており、人件費高騰など課題を抱える新興国戦略、また IoT を活用した新たな取り組みなど、我々日本の製造業もその動向をいち早く読み取り、展開していかなければならない。最新事情・先進事例を取り上げ、新たな気づきや課題・解決策を共有し方策を探究する。